

平成26年度学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p><教育課程> 新学習指導要領に基づいて定めた教育課程の検証と必要な修正を行う。</p>	<p>・新しい学習指導要領に基づき学習の幅を拡大できることをめざして編成した教育課程を検証し、必要な修正を行う。</p>	<p>・新しい学習指導要領に基づいた教育課程を検証する手だてを正しく講じて検証を行い、必要な修正を行うことができたか。</p>	<p>・物理基礎、化学基礎、生物基礎を各2単位ずつ1年に全て設定していることの効果と課題の検討・整理、2年の類型及び必修選択のあり方、3年の理科2科目の履修方法の検討を行い、教育課程の修正に取りかかった。</p>	<p>・進路実績等から現行の教育課程が一定の成果を挙げているとみることでもできるが、よりいっそうの実績を上げる上で修正は必要。国公立大学、難関私立大学受験を見据えた選択履修ができるように改善する。</p>	<p>・検証と必要な修正を行うこととしたが校内での作業を進めている段階であり、保護者等への周知は行っていない。今後、適切な時期に周知してほしい。</p>	<p>(学校評価) ・学習指導要領に基づいて編成した教育課程を検証して見直しを行っているが年度内の変更には至らなかった。 (改善方法等) ・完全実施となった教育課程について、生徒の学習状況や進路を見据えて、必要な改善を早期に実施し、カリキュラムの充実を図っていく。</p>
<p><生徒指導・支援> (1) 思いやりと多様性を認める心を育成する。 (2) 規範意識やルール・マナーを身につけさせる。 (3) 生徒が行事運営を通じて、リーダーシップを発揮したり、主体的に取り組めるよう支援する。</p>	<p>(1) ・式典や全校集会にきちんとした態度で臨み、様々な話の中から人間性や社会性を身に付けさせる。 (2) ・交通ルールやマナーを守り、安心・安全な社会の構成員としての自覚を高める。 ・服装、頭髪等の学校規則を理解させ、遵守するようにする。 (3) ・委員会活動を活発にし、意見を積み重ねながら行事を作るよう助言する。 ・行事や部活動、委員会において、組織作りを大切にして、それを動かす能力を養えるよう助言する。</p>	<p>(1) ・式典や集会に対し、きちんとした態度で臨み、話をよく理解することができたか。話す側はその内容を吟味して準備してきたか。 (2) ・交通ルールやマナーを守り、社会の一員としての自覚を高めることができたか。 ・服装・頭髪等の校則がきちんと守られたか。 (3) ・委員会活動は生徒が主体となって、運営できたか。また、行事に生徒が主体的に参加できたか。</p>	<p>・式典や集会では、常に規律正しい真摯な態度で臨む姿勢を育成することができた。講話内容は、その時機に合ったものを吟味し、効果的で適切な指導を行うことができた。 ・適切な時機に校外交通指導を実施した。状況に応じ、交通ルールやマナーに関する注意喚起を行い、粘り強く意識の涵養に努めた。 ・全職員共通の指導基準のもとに、日常的にきめ細かく頭髪・服装指導を実施し、規律ある学習環境を整えることができた。 ・生徒会本部役員や委員会委員長がメンバーをよくまとめ、リーダーシップを発揮した。 ・学校行事では、生徒全員が責任をもって主体的に参加し、お互いを尊重しながら計画を立て実行した。</p>	<p>・生徒の状況を観察し、その時機に適切な講話内容を吟味して、更に継続指導していきたい。 ・年間を通して、粘り強い交通ルール・マナーの指導が必要である。特に、年度当初に交通事故が多い傾向があり、新1年生に対して交通ルール・マナーの指導を丁寧に実施し、交通安全に対する意識を育成したい。 ・全職員の共通理解を再確認し、きめ細かい指導を更に継続していきたい。 ・生徒会本部・各実行委員会は組織的に活動し、役割のみならず協力し合い諸行事にあたることができた。さらに生徒会議を充実させ、お互いの意見を聴く機会を増やしたい。</p>	<p>(1) ・アンケートの結果、「よく取り組んでいる」が32.2%にとどまっていることは、保護者の要望としてとらえる必要がある。 (2) ・交通事故が多く、傘さし運転やイヤホンをつけたままの運転、並列走行などの危険な運転についてさらに指導が求められている。 ・服装・頭髪指導については、入学前からの学校の指導方針を入学希望の中学生にも浸透させており、さらに、しっかりとした高校生らしい服装にさせてほしいという意見がある。 (3) ・行事については、評価1の31.7%を含め保護者の99.1%から理解を得ている。さらに指導の工夫・助言の方法などについて充実を図っていく必要がある。</p>	<p>(学校評価) (1) ・LHRや授業、式典・集会等において、多様な考え方を理解し、思いやりのある行動ができるよう指導した。 (2) ・依然として事故にあう生徒も少なく、課題となっている。 (3) ・生徒が行事運営を通じて、主体的に取り組む意欲を生かしながら、さまざまな場面でリーダーシップを発揮することができた。 (改善方策等) ・道徳教育の充実を努め、職員の人権感覚を磨く取組を継続する。 ・いじめアンケートによる課題の抽出や教育相談体制により、生徒や保護者の声を逃さず課題の把握に努める。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
						<ul style="list-style-type: none"> 交通安全週間や全校集会、HR などを通じて、安全に対する意識の高揚とマナーアップに取り組む。また、保護者や地域と連携して交通安全の取組の充実に努める。 生徒の活躍できる場面をうまく設定するとともに、適切なアドバイスによりリーダーシップを発揮できるよう努めるとともに、思いやり、他人の尊重ができるよう組織的な支援体制づくりを行う。
<p><学習指導・授業改善></p> <p>(1) 密度の濃い授業に集中力を持って取り組む力を育成する。</p> <p>(2) 学力向上につながる授業改善を推進する。</p> <p>(3) 一人ひとりの第一志望の進路実現に向けた学力の向上を図る。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 単位の内容を密度の濃い授業展開により、生徒の集中力を高め 45 分で効率よく学習する。 家庭での予習復習を習慣とし、授業中の活動の充実を図る。 学習指導要領に基づいた新しい学力観の視点にたち、新しい授業方法を研究し、授業改善を推進する。 第一志望の進路実現が図れるような学力を理解させ、必要な学力に応じた学習が行えるよう指導と支援を行う。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の時間配分が適切に行われ、効率よく学習できたか。 家庭での予習復習が習慣化できたか。 授業研究、校内研修を組織的・効果的に実施し、授業改善は進んだか。 生徒の第一志望を把握し、学力の向上を図ることができたか。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 50 分の内容を 45 分で学習できるような工夫を各教員が行い、生徒の集中力を高め、効率よく学習している。 予習復習を前提とした授業展開をし、家庭学習を習慣とする生徒が増えた。 授業づくりチームを中心に組織的な授業研究、校内研修を実施した。その成果として授業改善が進んだ。 第一志望の進路実現に向け、個別の相談や補習・講習、小論文指導などきめ細かく丁寧な指導と支援を行った。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 45 分授業に慣れて 45 分の内容の授業展開をしているかのように見える。授業の進度、難度を工夫し、生徒の集中力をより高める必要がある。 家庭学習の習慣を持つ生徒が増えたことが生徒のノートから見てわかる。しかし、まだ家庭学習が習慣化できていない生徒が多くおり、丁寧な指導が必要である。 授業で生徒主体の活動を取り入れた場が増したが、生徒の学習理解にまだ反映しきれていない。更なる工夫を行う。 生徒一人ひとりに対する指導・支援は対応する教員頼みなどところがあり、組織的に対応する必要がある。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導については、平成 25 年度と比較すると評価 1 の割合が半減し、取り組んでいないという評価 3 の割合も 7.6% 増加した。 授業改善については、評価 3 の割合が少し減ったもののまだ、11.3%にも及んでいる。また、残念ながら評価 1 については半減している。保護者に対する周知により、理解を求める必要もある。 取り組んでいないとする評価 3 が 13.0%もある。第一志望の進路実現が図れる学力に応じた指導の実現に向け、授業改善や生徒の学習姿勢等の指導に努める必要がある。 	<p>(学校評価)</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間を大切にすることを生徒と共有した。 家庭での予習復習の大切さを理解させ、授業中の活動の充実を図った。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校全体で授業改善に取り組み、生徒による授業評価の結果等を検証した結果、改善の成果を確認でき、また、研究授業や校内研修会により、新たな改善方策を立てることができた。 <p>(改善方法等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 補習・講習について、進路や自己実現を果たせるよう支援を行う。 授業改善の取組を検証して、より実践的で学校全体が組織的に取り組むこととし、生徒の確かな学力向上に努める。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
<p><キャリア教育></p> <p>(1) 自らの役割や価値を見出せるような自己探求を行わせる。</p> <p>(2) 社会での実践力のあるキャリアデザインをさせる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の学習を通して、社会へのさまざまな関わり方を知り、キャリア形成と自己実現の意識を高め、個々の第一志望を決定させ、その実現を支援する。 学習および進路に関するきめ細やかな面談を実施し、家庭や地域等の教育力を活用しながら、将来を見据えたキャリアデザインを考えさせるとともに、第一志望実現に向けて粘り強く努力する姿勢を養う。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒のキャリアデザインのための情報を発信し、考えさせることができたか。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒が第一志望の実現に向けて努力するサポートができたか。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間における取組を通して、1・2学年は社会への係わり方を考え、3学年はその実現へ向けて努力をした。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学期ごとに個人面談を行い、また長期休業中には三者面談を行うことで、進路および学習に対する意識を高めた。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリアデザインにおいて様々な情報を活用し、柔軟で発展性のある決定を促したい。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム開発グループと連携し、学習面で第一志望の実現をサポートしたい。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の評価3が激減し、95.4%の保護者に理解が得られている。指導をさらに充実させるとともにキャリアデザインガイドブックの効果的な活用などにより、学校の取組について周知を図って理解を深めていただく。 評価3が激減し、92.0%の保護者に理解が得られるまで進んだ。指導をさらに充実させるために、学校としての取組が一層充実するよう、さらに家庭や地域等の教育力の活用を図っていききたい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリアグラントデザインの中で、第一志望の実現を指導目標として計画をたて、実施することができた。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員個々の経験や力量の差をできるだけ少なくして、組織的な活動を通じて学校全体のレベルアップを図る。 蓄積したデータを活用して、生徒や保護者に説得力のある説明を行い、自信をもって、自らの第一志望の実現をめざせるよう支援の強化に努める。
<p><地域等連携></p> <p>保護者や地域からの期待と信頼に応え、開かれた学校づくりの推進を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の保護者はもとより、中学生、その保護者、地域の方々が本校の取り組みを理解できる「学校へ行こう週間」や、地域貢献活動に取り組み、信頼できる学校づくりをめざす。 部活動や委員会活動を通して地域の団体や施設との交流を一層推進する。 学校説明会及び中学校訪問などの広報活動を推進するとともに、ホームページの内容を充実させ、本校の教育活動を広く発信して地域の理解を図り、連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校へ行こう週間の時期や形態は適切であったか。 地域貢献活動が適切に実施されたか。 地域との積極的な交流が行えたか。 各行事等において適切な情報発信が行えたか。 ホームページの更新が適切に行えたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の「学校へ行こう週間」を10月20日～24日に実施した。また、9月29日(2学年)、10月6日(1,3学年)を地域貢献デーとし、地域の清掃活動に取り組んだ。 9月6日、7日に開催した文化祭では、多くの中学生、その保護者、地域の方々に来校していただいた。 8月21日、11月15、22日に学校説明会を、10月4日にはオープンスクールを開催し、多数の中学生とその保護者に参加していただき、本校の教育活動を広報することができた。 ホームページをリニューアルし、更新の頻度を上げた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校へ行こう週間」や学校説明会等を通して、より多くの中学生とその保護者、地域の方々が本校への理解を深められるよう、計画を立てていきたい。 文化祭や各部活動の活動では、多くの中学生とその保護者、地域の方々とのふれあいを持つことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価としては、平成25年度に比べ、好転しているが、さらに取組を進める必要がある。 取り組んでいないという評価3の割合は15.1%から10.7%に減少したものの、保護者には十分理解が進んでいない。広報を図ることが重要である。 ホームページにより現在の学校の様子を知ることができることから保護者の関心も高い。評価1と2を合わせた割合は増えているものの、85.2%であり厳しい結果である。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校全体で行う地域清掃を実施した。 P T A活動を通して連携を図ることが出来たが、学校の教育活動をホームページ等を通じて知らせほしいという要望があった。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校全体で行う地域清掃だけではなく、部活動等少人数による地域への協力等小回りの利いた活動を実践していく。 地域自治会や中学校との交流や連携協力をさらに進め、学校への理解はもとより、防災等に対する協力体制、授業見学や研究授業、部活動交流等により教育活動の充実を努める。 ホームページの更新回数を増やし、内容の充実により、本校の教育活動を保護者、地域や中学生に対して情報発信をしていく。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
<p>< 学校運営・学校管理 ></p> <p>(1) 緊急災害時の対応体制を整備する。生徒・保護者に信頼される情報の発信をする。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震などの緊急災害時の対応体制を整備し、保護者が安心して任せられる学校体制を整える。 地域の防災体制を把握し、連携がとれるように努める。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 三者面談、PTA活動を通して保護者とのより一層の連携を図る。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時の必要物品や備蓄品を揃え、生徒の帰宅方法の把握を行うことができたか。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> PTAの各委員会や役員会を通して保護者からの要望を把握し、実現できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄物品の保管場所を変え、棚を新設する等、室内を整備した。また、在校生の不足分を補充し、今年度の1年生からは3食分を買うことにした。 各学年での3者面談、懇談会や行事等で保護者とのコミュニケーションをとってきた。また、生徒からの要望も可能なものは実現してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 水が不足することが課題であり、次年度から準備していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価1、2合わせて90.0%となり、保護者の理解は進んだと考えられるが、取り組んでいないという評価3は19.4%から10.0%に減少したもののまだ、十分とはいえないという声として捉える必要がある。 本アンケート調査もそうした一環であり、取り組んでいないという評価3が減少したが、さらに要望の把握、学校運営への反映に努めていきたい。 	<p>(学校評価)</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練により避難方法を確認するとともに、起震車による地震体験、講話を通じて身の安全を守る大切さ、具体的な安全確保の方法を学ばせることができた。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 面談や行事、PTA活動等を通して保護者と連携を図ることができたが保護者のニーズに速やかに応えることが大切である。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校からの通知やホームページへの掲載等により、学校の取組について保護者に理解が得られるよう周知に努める。 保護者アンケートの実施、集計・分析により学校運営の改善に結びつこう努める。